



2023年12月期

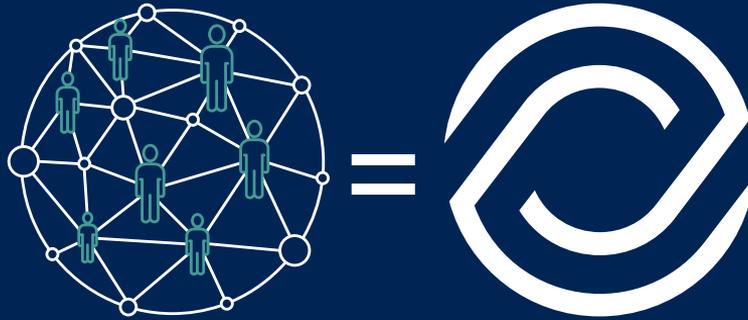
決算説明資料

FINANCIAL RESULTS FOR THE FISCAL YEAR 2023

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーとweb3/DAOに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

当社事業概要



カーブアウト企業および投資先企業の株式売却益を
新規事業・投資先へ再投資



2023年12月期：ソーシャルメディアサービス事業

スナップマーケット株式会社の発行済株式の全てを取得し、完全子会社化
顧客と企業がより密接に関わり体験を分かち合う「価値共創マーケティング」を強化

上流から下流まで一気通貫する、SNSを中心とした統合型マーケティングを提供する体制を構築



2023年12月期：ソーシャルメディアサービス事業

スナップマート株式会社の発行済株式の全てを取得し、完全子会社化
顧客と企業がより密接に関わり体験を分かち合う「価値共創マーケティング」を強化



CREAVE

社名 株式会社 CREAVE
社名変更日 2024年2月1日
代表者 中村真奈
事業内容 SNSコンサルティング事業
クリエイターマーケティング事業
ストックフォト事業



2023年12月期:ソーシャルメディアサービス事業



提供実績 1,000 社以上のSNS マーケティングサービス群を刷新し、
日本最大級の SNS マーケティングメディア
「Social Media Lab (ソーシャルメディアラボ)」をリニューアル

ほか、2023年度は、投稿代行業務やクリエイティブ制作におけるケイパビリティを拡充



<https://gaiax-socialmedialab.jp>

2023年12月期：インキュベーション事業

スタートアップ育成5か年計画で増加する全国の自治体の起業家輩出支援、
web3/DAOコンサルティングを中心に提供



2023年12月期：インキュベーション事業 (web3/DAO)

web3/DAOへの複数の日本初の取り組みを継続し、DAOに関するお問合せが増加

当社が開発・支援する『美しい村DAO』、DAOへの参加権 & 投票権付与のNFTを販売

博報堂キースリーと連携し、共創型商品開発ソリューション「新！商品開発」を開始

「令和4年度高度通信・放送研究開発委託研究」において、終了評価でS評価を獲得

三井住友海上火災保険株式会社と共同で、新卒採用を現場社員と就活生のDAO組織で運用

DAO活用の最前線「DAO FORUM 2023」を開催、申込者は400人超

DAO組成・運用プラットフォーム「DAOX(ダオエックス)」を発表

日本初の DAO 型シェアハウス「Roopt DAO」、開業1年で売上 1.7 倍&利益率の大幅改善

複数自治体横断の「美しい村DAO」、松崎町長が生成AIでデザインした地域資源NFTを販売

GAIAX DAO
CONSULTING

 Blockchain Biz

2023年12月期 第4四半期: インキュベーション事業 (web3/DAO)



三井住友海上火災保険株式会社と共同で、
新卒採用を現場社員と就活生のDAO組織で運用

DAOを活用した新たな採用プロセスを構築し、採用活動の透明性や公平性を高め、これまで以上に「共感」を生み出し、ギャップやミスマッチを発生させない採用活動を推進。

「匿名・学歴等不問」「評価の可視化」は、学生からも高評価を得る。



DAO活用の最前線「DAO FORUM 2023」を開催、申込者は500名超

2023年12月13日、DAO活用現場の最前線を取り上げる『DAO FORUM 2023』を開催。最終的な申込者は500名を突破。申込者の約40%が「DAO活用の新規事業を検討中」と回答。

ガイアックスがこれまで取り組んできたweb3/DAOの事例・取り組みを当事者を変えてのトークセッションで伝え、盛会のうちに終了。

2023年12月期 第4四半期: インキュベーション事業 (web3/DAO)

DAOX

DAO組成・運用プラットフォーム「DAOX(ダオエックス)」を発表

DAO の立ち上げ&参加を簡易化するDAO組成・運用プラットフォーム「DAOX(ダオエックス)」を発表。現在、オープンベータ版の申込み受付中。



Roopt DAO

日本初の DAO 型シェアハウス「Roopt DAO」、開業1年で売上1.7倍&利益率の大幅改善

Roopt DAOは、DAO導入前である1年前と比較して、「高い入居率」および「集客・維持管理コストの低減」を実現し、物件の魅力と収益性の双方を大きく向上。



美しい村プロジェクト

複数自治体横断の「美しい村DAO」、松崎町長が生成AIでデザインした地域資源NFTを販売

体験ツアー&特産品付きの地域資源NFT。NFT発行の是非を問う投票を経て販売を開始し、間もなく発行可能個数の上限に到達。2024年2月には体験ツアーも開催。

2023年12月期: インキュベーション事業(起業支援)

スタートアップ育成 5か年計画で増加する国・自治体・金融機関・大学等の案件を複数受注



FAIL UPWARDS STUDIO

東京都運営、多様な主体による
スタートアップ支援展開事業
「TOKYO SUTEAM」に採択された
「FAIL UPWARDS STUDIO」



北海道スタートアップスタジオ

北海道庁より受託、道内から起業家を連続的に輩出する
「北海道スタートアップスタジオ」

FUKUOKA

STARTUP ELITE

福岡市主催、急成長を目指す起業家輩出プログラム
「FUKUOKA STARTUP ELITE」

ほかにも山口県主催、学生向け新規事業
開発体験プログラムなどを複数受注

2023年12月期: インキュベーション事業(起業ゼミ)

引き続き、スタートアップ育成 5か年計画で増加する自治体からの案件受注を継続
定期的なメディア取材による露出や、ほか受託案件・DAO事業への発展に寄与



筑波大学
University of Tsukuba



TSUKUBA

筑波大学と連携・つくば市と協力し、
アントレプレナーシップ教育プログラムを実施



長野市
Nagano City

長野市より「長野市と信州大学との連携による
スタートアップ創出業務委託」の企画・運営を受託



高知県は、ひとつの大家族やき。

高知家

高知県より「令和5年度起業体験推進事業」の企画・運営を受託



名古屋市



Tongali

名古屋市、Tongaliと連携し、
アントレプレナーシップ醸成を目指した長期プログラムを実施

2023年12月期 出資先動向



《出資》ストリートアカデミー株式会社への出資を実施

教えたいと学びたいをつなぐまなびのマーケット「ストアカ」を運営するストリートアカデミー社への出資を実施。ストアカは、累計受講者数134万人、講座満足度97.5%。また、企業向けには人事研修や企業内大学向けに「オフィスク」を展開。



《出資先》デジタルIDとオンライン本人確認eKYCを展開する株式会社TRUSTDOCK 3年連続「eKYC導入社数No.1」を獲得

東京商工リサーチにより、2023年8月～9月（調査対象時期：2023年8月末時点）に行われた調査において、「eKYC導入社数No.1」に選ばれる。eKYCのリーディングカンパニーとして事業成長を継続。



《出資先》カスタマーサクセスソリューション・プロバイダーのアディッシュ株式会社 TikTokアカウントのリスク対策を開始

独自の監視システム「Police」にTikTok's Accounts APIを連携、また他社との連携による「TikTokコメント監視パッケージ」を提供し、企業のTikTokアカウント活用を支援

2023年12月期 出資先動向



多拠点生活プラットフォームを提供する株式会社アドレス
株式投資型クラウドファンディング「イークラウド」で国内最高額99,900,000円到達

ユーザーなども株主に迎え入れる「コミュニティラウンド」と銘打って株式投資型クラウドファンディングに挑戦。開始後、約46分で目標募集額の3,000万円に到達。
また、当社子会社ロコタビと提携し、2024年春から海外展開も計画。



《出資先》住んだ分の家賃で暮らせる部屋「unito」を運営する株式会社Unito
業務提携先を拡大、掲載物件数および集客を強化

東急株式会社との協業ブランド「リレントレジデンス」の第三弾のオープンを始め、長谷エライブネット、京急イーエックスイン、京王電鉄、明和治所との協業物件をリリースし、物件数を大きく拡大。また2024年1月には資金調達(シリーズC)のファーストクローズを発表。



《出資先》B2Bマーケティング支援の株式会社才流
「PMF CONFERENCE 2023」申込者数は2,000名を突破
新規事業を成功させるためには、顧客のニーズを満たす製品・サービスを正しい市場に提供する(=PMFする)必要。PMFに知見が深いキーパーソンが多数登壇。

2023年12月期 振り返り

連結業績

売上高: 2,717百万円
営業利益: 135百万円

前年同期比: 4.6%増

ソーシャルメディアサービス事業

売上高: 1,927百万円
営業利益: 361百万円

前年同期比: 5.5%増
前年同期比: 5.7%増

インキュベーション事業

売上高: 795百万円
営業利益: 121百万円

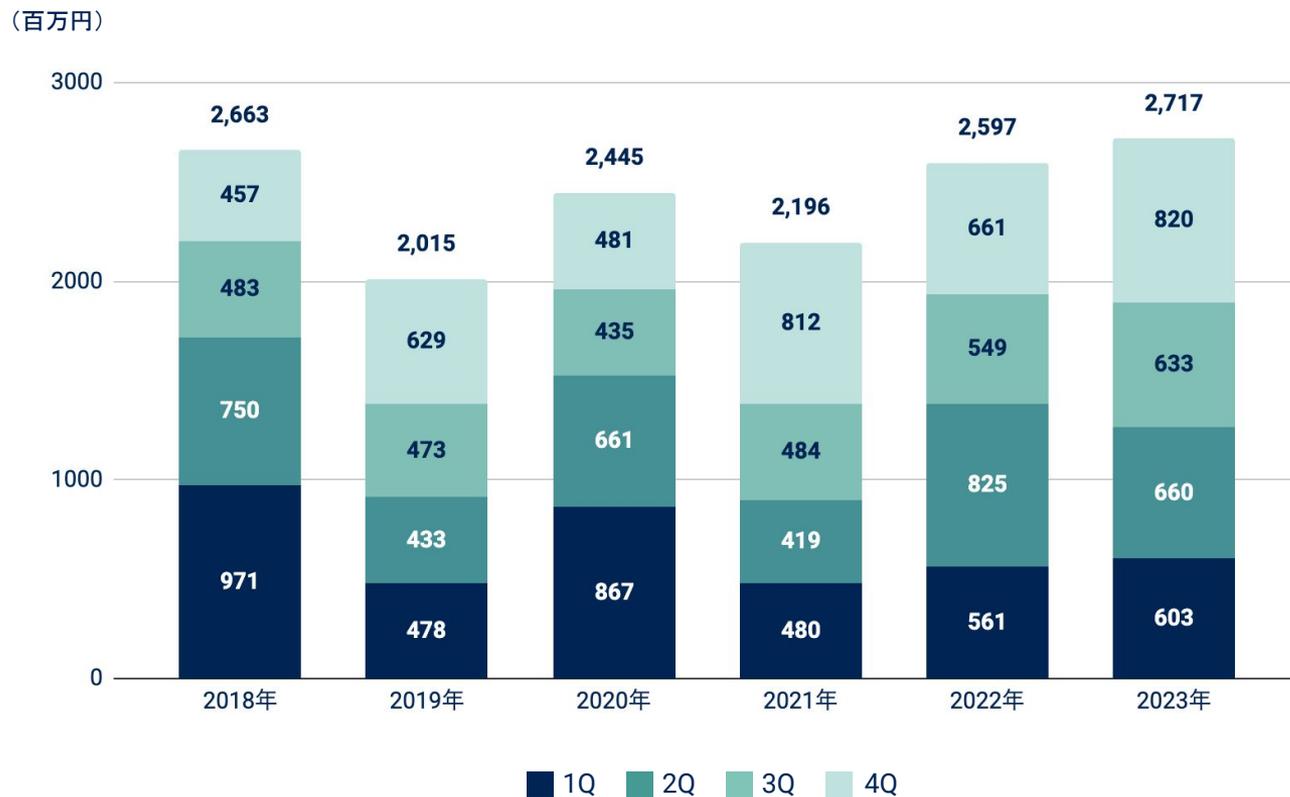
前年同期比: 0.9%減

連結売上高の推移

ソーシャルメディアサービス事業における、SNSを中心とした統合型マーケティング支援は引き続き堅調

また、営業投資有価証券の売却が後押し

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



連結営業損益の推移

営業投資有価証券の売却およびインキュベーション事業のコストコントロールにより、営業利益135百万円に着地



アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。

2023年12月期 連結PL(年度比較)

単位:百万円	2022年12月期	2023年12月期	YoY
売上高	2,597	2,717	+4.6%
売上総利益	1,661	1,781	+7.2%
販売費及び一般管理費	1,872	1,645	-12.1%
営業損益	△ 210	135	-
経常損益	△ 174	152	-
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 341	279	-

2023年12月期 第4四半期 連結PL(四半期会計期間比較)

単位:百万円	2022年12月期 第4四半期	2023年12月期 第4四半期	YoY	2023年12月期 第3四半期	2023年12月期 第4四半期	QoQ
売上高	661	820	+24.1%	633	820	+29.5%
売上総利益	358	562	+57.1%	408	562	+37.9%
販売費及び一般管理費	517	427	-17.4%	394	427	+8.4%
営業損益	△ 158	135	-	13	135	+871.5%
経常損益	△ 157	139	-	16	139	+729.8%
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 336	140	-	14	140	+893.1%

2023年12月期 連結B/S

営業投資有価証券(上場分)の評価額が伸長し、一部売却を実施

スナップマート株式会社の子会社化に伴うのれん代により固定資産が増加

単位:百万円	2022年12末	2023年12末	増減
流動資産	2,128	1,898	△ 229
現預金	697	681	△ 16
受取手形・売掛金	288	320	+ 32
仕掛品	7	104	+ 96
営業投資有価証券	1,090	746	△ 343
その他	45	45	+ 0
貸倒引当金	0	0	0
固定資産	76	109	+ 33
有形固定資産	18	26	+ 7
無形固定資産	0	64	+ 63
投資その他の資産	56	19	△ 37
総資産	2,204	2,008	△ 196
流動負債	487	462	△ 24
支払手形・買掛金	61	79	+ 18
短期・1年内返済長期借入金	40	17	△ 23
その他	385	366	△ 19
固定負債	385	214	△ 171
長期借入金	69	52	△ 17
繰延税金負債	280	161	△ 118
リース債務	7	-	△ 7
その他	28	0	△ 28
純資産	1,331	1,331	+ 0
株主資本	648	902	+ 253
その他の包括利益累計額	646	411	△ 235
新株予約権	35	16	△ 18
負債純資産合計	2,204	2,008	△ 196

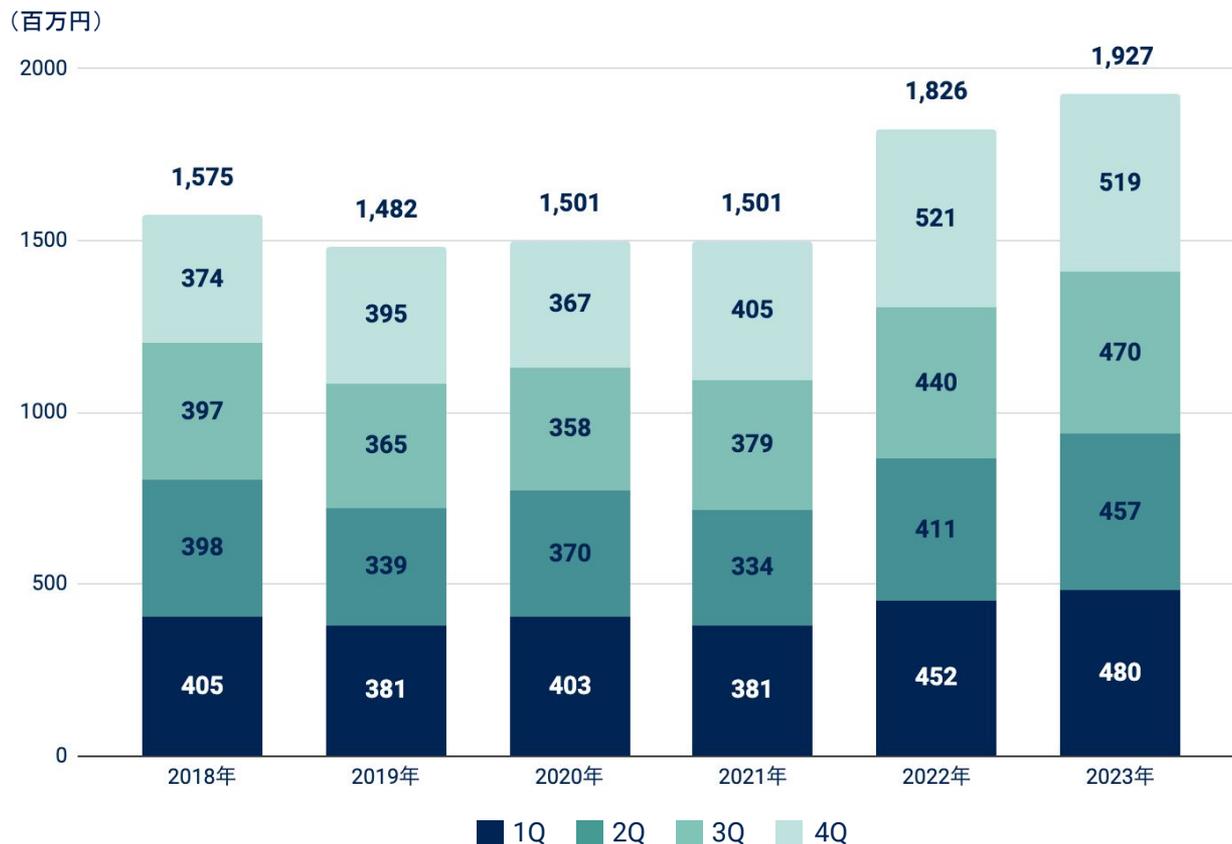
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

ソーシャルメディア サービス事業 連結売上高の推移

SNSマーケティング支援を、
統合型マーケティング支援へ
とサービス拡張したことによ
る受注増にて、売上高増加

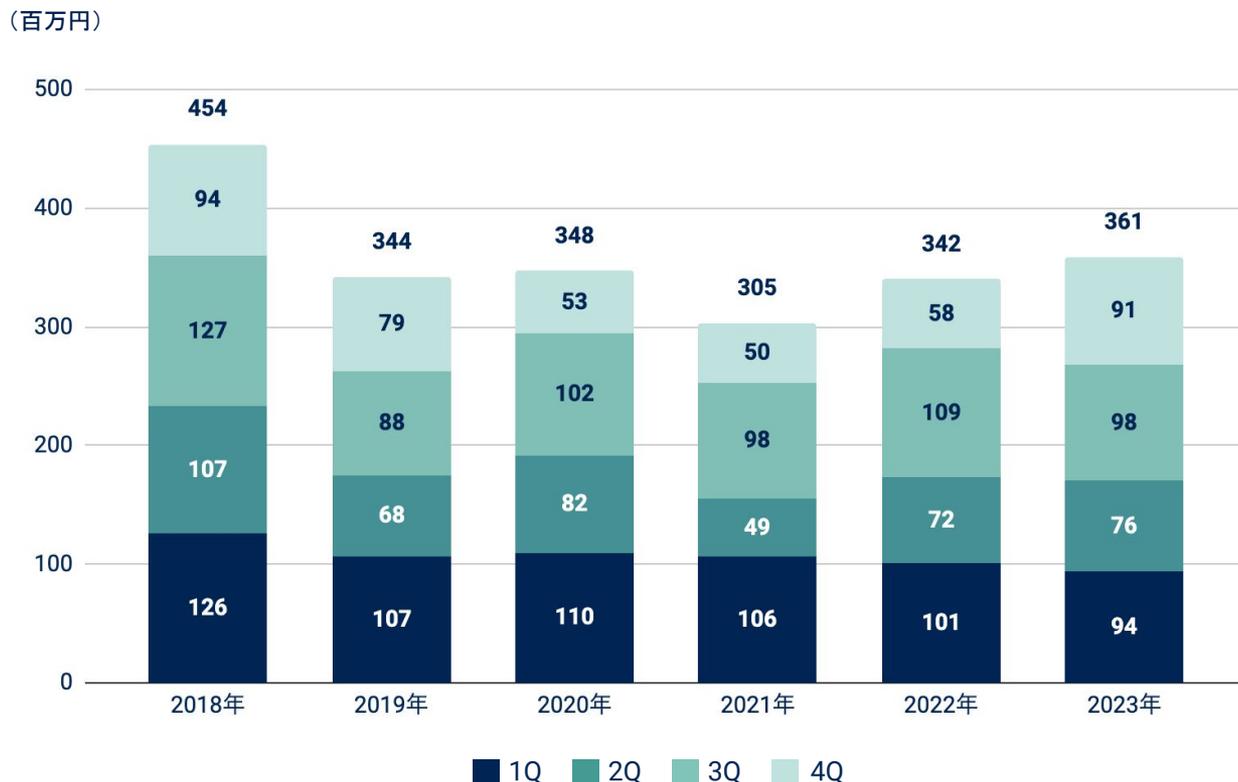
アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



ソーシャルメディア サービス事業 連結営業損益の推移

2023年2月のスナップマート社の連結子会社化により、一時的に利益率が低下していたものの、販路拡大等の事業シナジーにより18.7%まで改善

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。

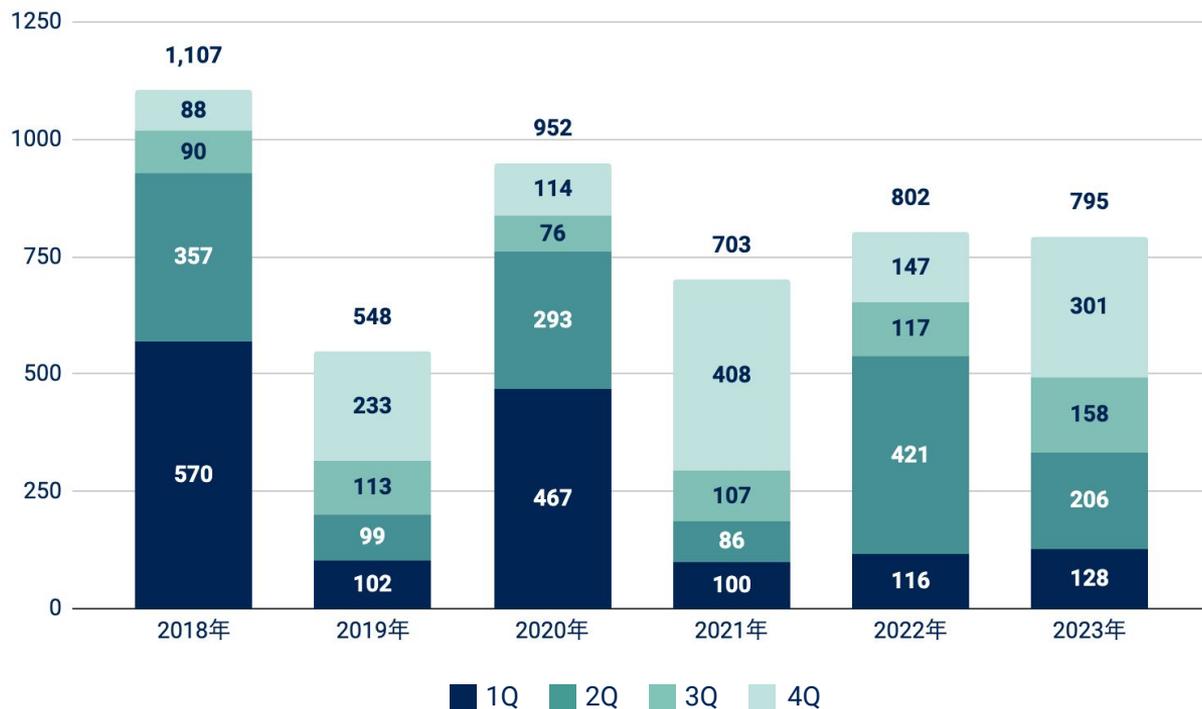


インキュベーション事業 連結売上高の推移

2023年5月のNagatacho
GRiDの事業分割に伴う売上
高減少の影響があったもの
の、
営業投資有価証券の売却
が後押し

なお自治体受託案件の多く
は自治体会計年度末(当社
2024年12月期第1四半期)
に計上見込み

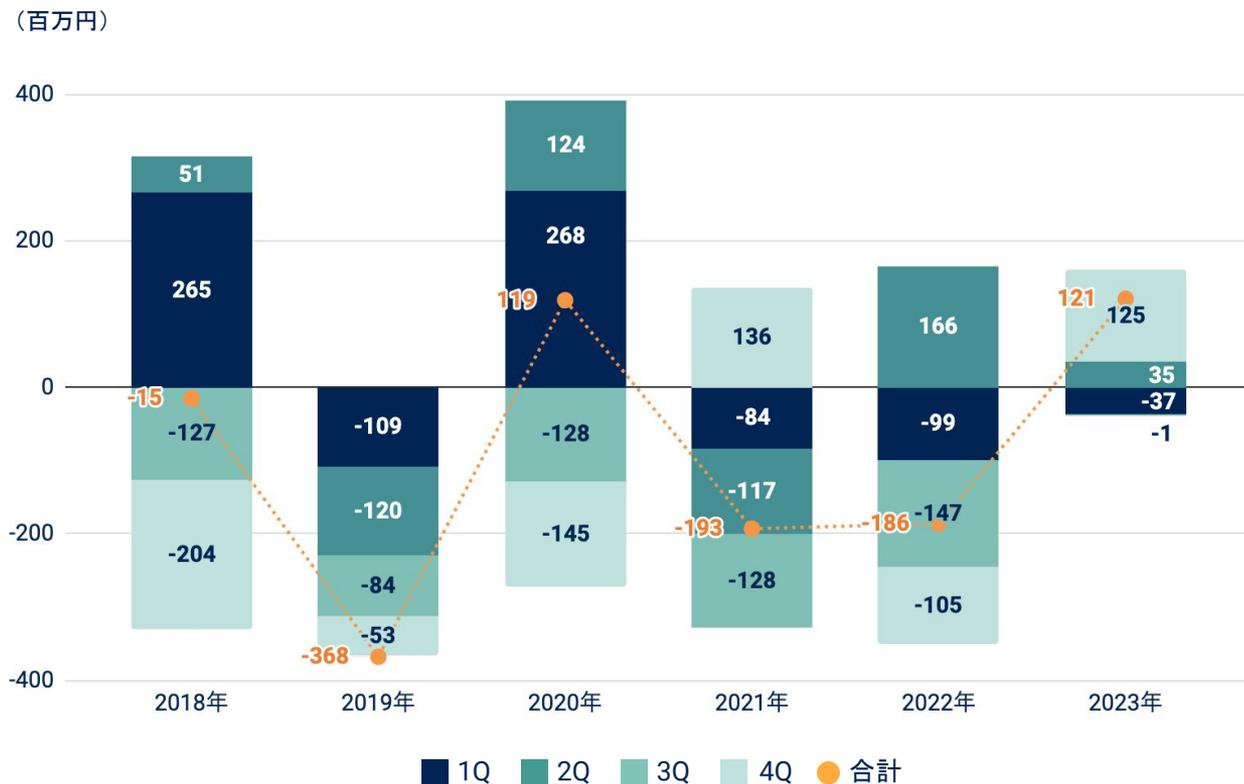
(百万円)



インキュベーション事業 連結営業損益の推移

外注費などの投資が続くも、
コストコントロールを継続

なお自治体受託案件の多く
は自治体会計年度末(当社
2024年12月期第1四半期)
に計上見込み



2024年12月期 業績見通し

ソーシャルメディアサービス事業については、SNSマーケティング・インフルエンサーマーケティング市場は、引き続き成長が見込まれており、当社がノウハウを蓄積してきた SNS運用代行・マーケティング支援をさらに進化させ、ニーズの高まるビジュアルコンテンツの提供とデータ解析を加えた統合型マーケティングを継続的に提供することで、売上高増加を図ってまいります。

インキュベーション事業においては、政府による「スタートアップ 5か年計画」を受けニーズの高まる自治体のスタートアップ創出支援、教育機関での起業家教育の事業受託を進め、全国各地にスタートアップ支援を展開していく予定です。また、新規事業としてweb3やDAOに注力してまいります。市況は不透明であり、引き続き開発コスト及び人件費等が先行する想定です。

単位:百万円	2023年12月期	2024年12月期	YoY
売上高	2,717	2,970	+9.3%
営業損益	135	120	△ 11.1%
経常利益	152	110	△ 27.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	279	100	△ 64.2%

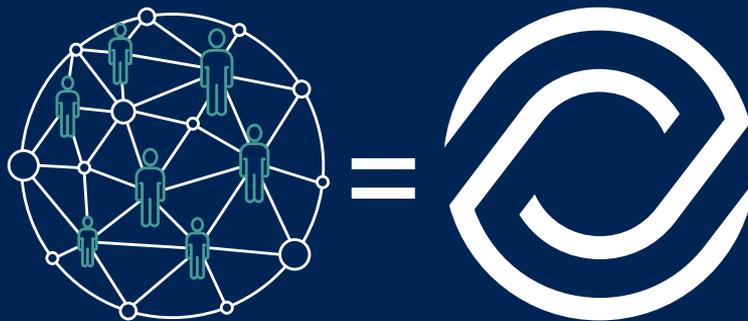
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

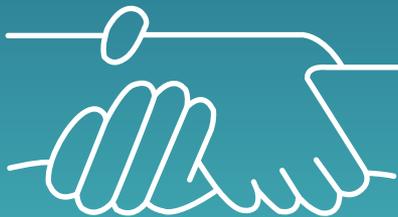
EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーとweb3/DAOに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

人と人がつながる社会とは

世界中の誰もが、他人のことを自分のことのように感じ、
互いが互いを自然と助け合う社会



現在の社会課題



環境汚染



大量生産・大量消費



大量廃棄



飢餓・貧困

資本主義の枠組みでは解決できない課題

現在の社会課題



共通リソースの共有



共助による社会インフラ



資源の再分配



コミュニティの創生

シェアリングエコノミー、web3/DAOで持続可能な社会を作る

事業領域

最先端のテクノロジー・市場分野を通じて「人と人をつなげる」を加速させるため、生活者同士の情報や感情を共有できる **ソーシャルメディア領域**、モノや時間を共有できる **シェアリングエコノミー領域**、連続的な起業家輩出を支援する **STARTUP STUDIO領域**、ブロックチェーン技術により自律駆動する社会を実現する **web3・DAO領域**に注力しています。



SOCIAL MEDIA SHARING ECONOMY

ソーシャルメディアコンサルティング、クリエイティブコンテンツ、運用代行やビッグデータリサーチを提供。またCtoCのシェアサービスのプラットフォームを運営しています。



STARTUP STUDIO

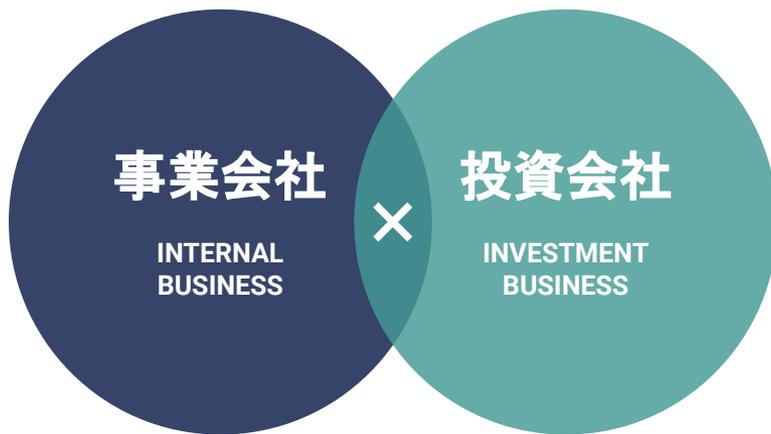
自社での起業家輩出やスタートアップ投資だけでなく、官公庁・自治体・金融機関等への起業家輩出プログラムの支援、中学校・高校のアントレプレナーシップ教育プログラム「起業ゼミ」を提供しています。



web3・DAO

プラットフォーム主体ではなく個人が主体となるプロダクトの開発や、民主的な組織運営を可能とするDAO(分散型自律組織)化を推進するコンサルティング・研修を提供しています。

社内事業と投資事業がハイブリッド型になった カーブアウト機能を持つ独自のビジネスモデル



カーブアウト: 会社分割の一種で、親会社が戦略的に子会社や自社の事業の一部を切り出し (carve out)、新会社として独立させること。

GAIAX INTERNAL BUSINESS

事業会社

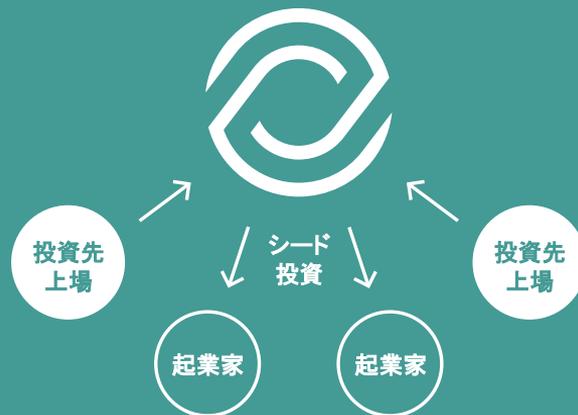
ソーシャルメディアマーケティング事業や
シェアリングエコノミーサービス事業などによる、
事業収益（インカムゲイン）を目指します。



GAIAX INVESTMENT BUSINESS

投資会社

社内外のスタートアップ企業へ投資し、
投資先企業が上場した際に利益を得る
投資収益（キャピタルゲイン）を目指します。



社内から連続的に起業家を輩出

これまで、投資先の卒業生の創業企業から4社が株式公開



2015年9月 東証マザーズ上場

時価総額 40億円
持分比率 7.56%



2015年10月 東証マザーズ上場

時価総額 81億円
持分比率 17.86%



2020年3月 東証マザーズ上場

時価総額 20億円
持分比率 41.79%



2021年11月 東証マザーズ上場

時価総額 228億円
持分比率 3.82%

※時価総額および持分比率は新規公開当時のものです。

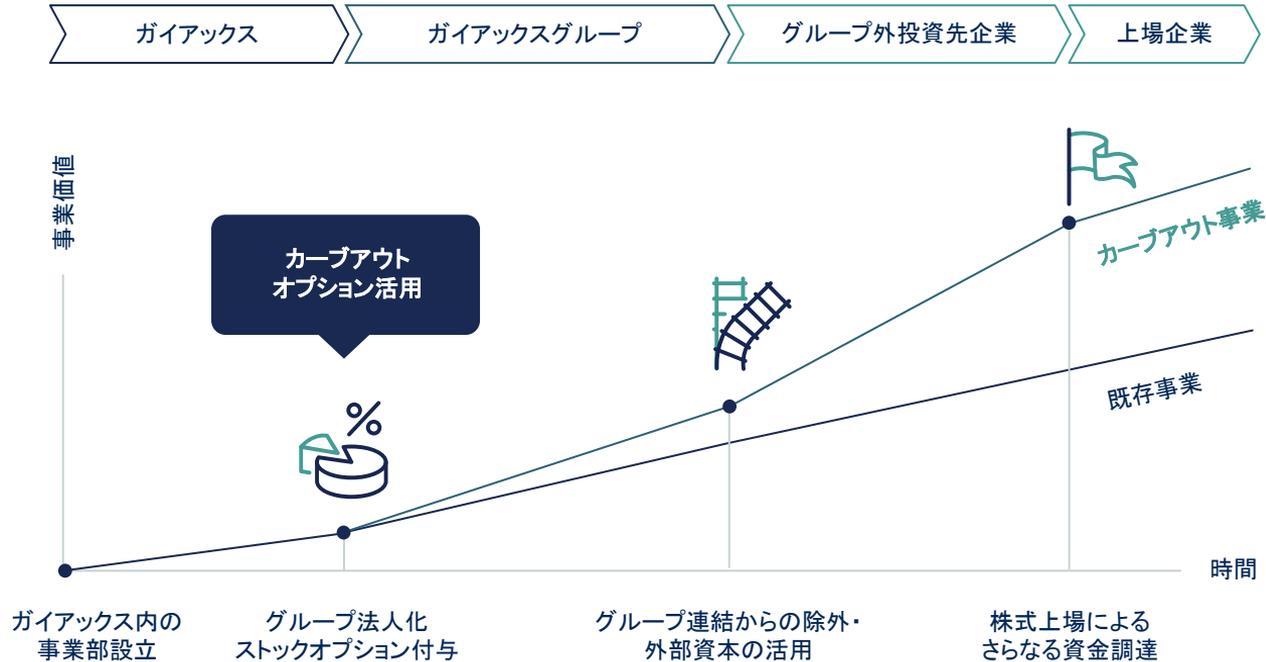


今後、「時価総額 数百億円 × 持分比率 10~30%」を目指す

この実現を目指し、優秀な人材獲得の強化
また、各事業部へのオーナーシップを付与による成長

カーブアウト機能を活用した事業の成長加速

事業単位でカーブアウト(法人化)し、外部を含めたリソースを活用

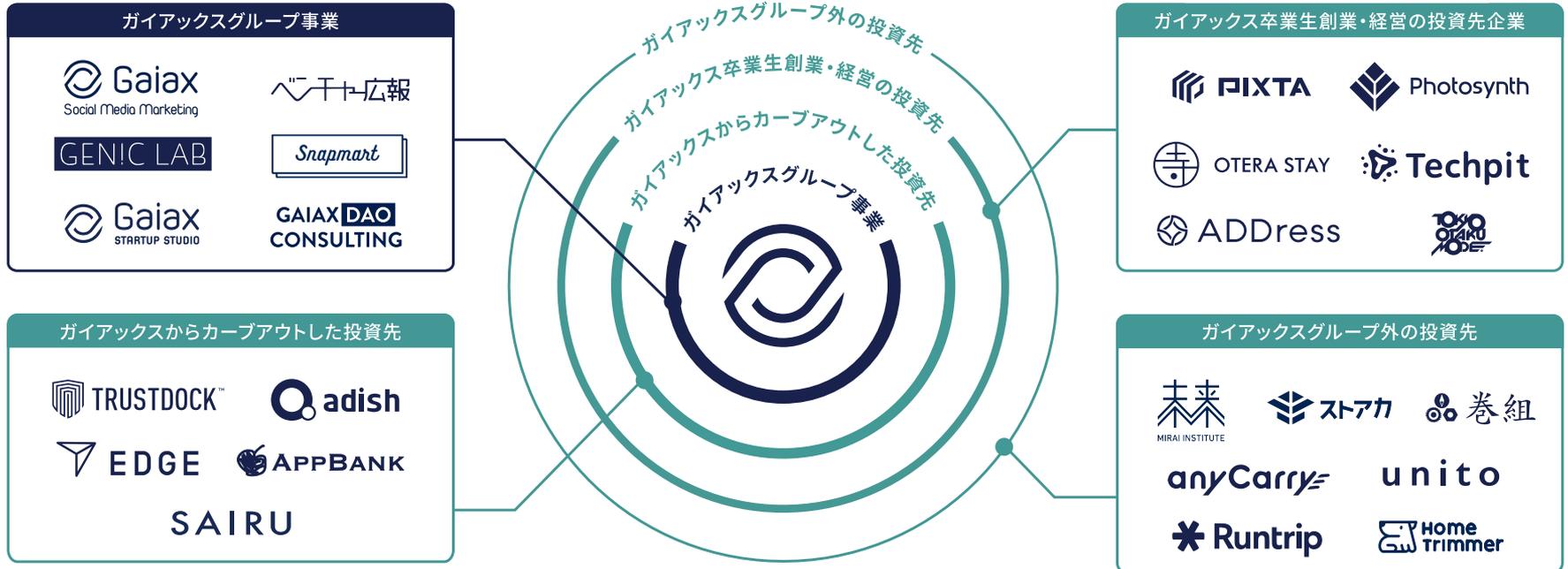


カーブアウトオプション制度活用事例

事業成長を最大化させる取り組みを実施



事業会社と投資会社の「ハイブリッドモデル」



※2024年2月1日、子会社スナップスマート株式会社と GENIC LAB事業を統合し、社名を「株式会社 CREAVE」へ変更

※掲載の投資先は一部です。また、過去の投資先(売却済み)を含みます。

これまでの振り返りと中期経営方針

ソーシャルメディアサービス事業

SOCIAL MEDIA BUSINESS

売上増加率

僅か

営業利益率

20%

年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業

INCUBATION BUSINESS

営業投資有
価証券の売却に
依存して不安定

コスト
コントロールと
投資規律の徹底

連結売上・利益・配当

CONSOLIDATED PROFIT & SALES

売上 全社経費込みの利益 配当

不安定

赤字

無配

売上 全社経費込みの利益 配当

安定
成長

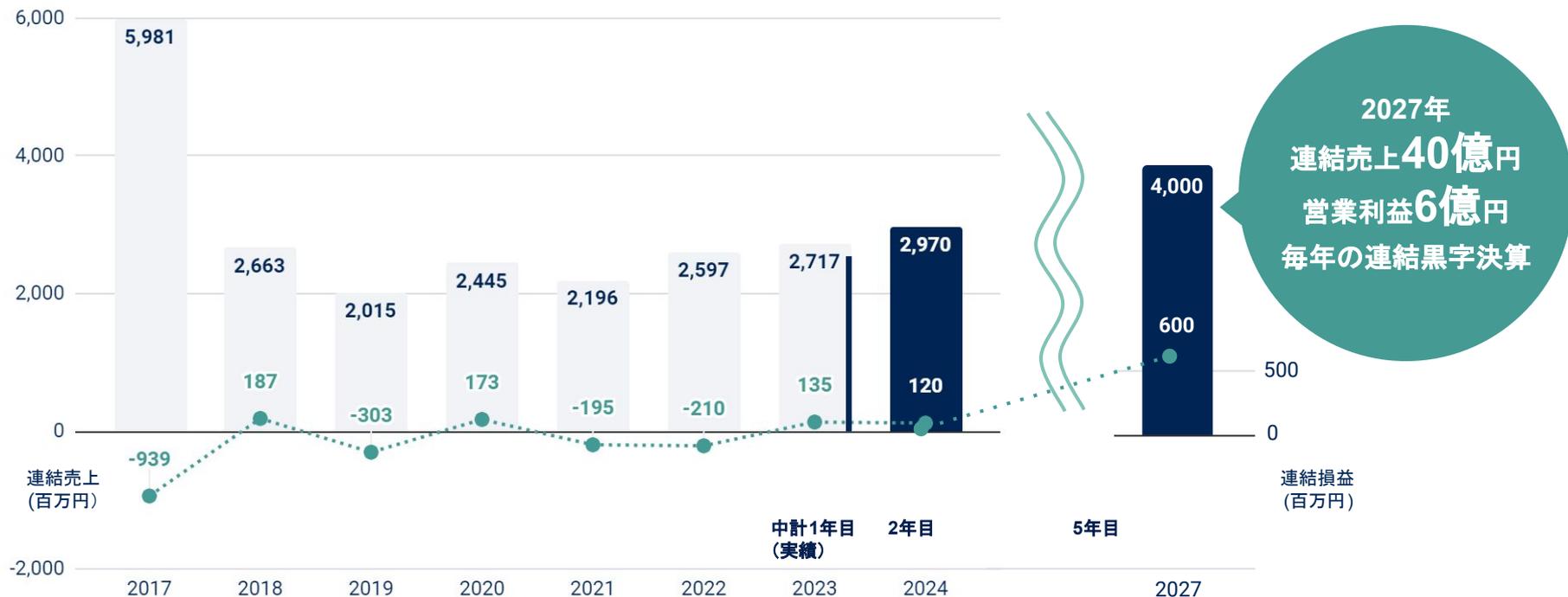
黒字

継続的
な配当

2023-2027年度 中期経営方針 業績目標

中計1年目は、売上2,717百万円(計画2,695百万円)、営業利益 135百万円(計画50百万円)に着地

■ 連結売上 ● 連結営業損益



株主還元方針

重要経営課題

株主への継続的な利益還元

収益性の向上と経営基盤の強化を推し進め、継続的な配当を目指します。

2024年12月期
期末配当額(予定)

5円

長期的な
利益成長重視



長期的な成長を
目指しつつ安定配当へ

流動性向上
も目指す

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

2023-2027年度 中期経営方針 各事業セグメントの振り返りと今後の方針

ソーシャルメディアサービス事業

SOCIAL MEDIA BUSINESS

SNS運用代行・マーケティング支援にクリエイティブ提供とデータ解析の専門組織を拡充し、近年は売上が伸長。



統合型マーケティングを提供。データ解析による継続的なコミュニケーションにより売上・利益成長。

年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業

INCUBATION BUSINESS

投資先の卒業生創業企業から4社が株式公開。カーブアウトからの上場も再現性がある状態に。

社外投資は回収までの年月が長く損失が先行。さらにIPO後の売却時期をコントロールできず、P/L業績が不安定。



投資パフォーマンスの高い創業時出資、カーブアウトをメインとした事業投資に特化。そして、web3/DAOを第三の事業の柱に。

事業投資

web3
DAO

社外投資
時価総額 持ち分比率

数百
億円 10~30
%

インキュベーション事業の投資注力分野

これからのガイアックスの投資注力分野 web3/DAO



ソーシャルメディア



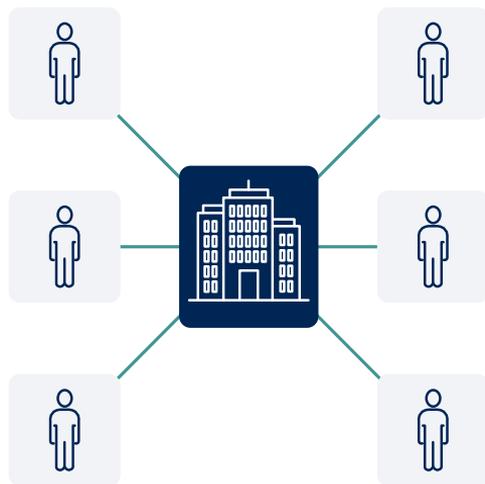
シェアリングエコノミー



web3/DAO

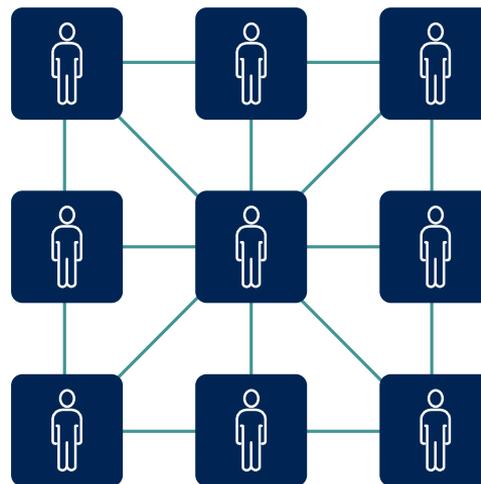
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーの知見を
web3/DAO事業に活かす

web3/DAOの世界が急拡大する



プラットフォームが
信頼性を担保

web2



ブロックチェーンが
信頼性を担保

web3

取り組み事例



巻組
DAOシェアハウス
『Roopt DAO』



Midori.so
DAOシェアオフィス
『CryptoBase』



地方自治体の連合 DAO
美しい村 DAO



総務省・Innovation
DAOで進める
アイデアソン

HAKUHODO
KEY3

博報堂キースリー
企業と顧客の共創型
商品開発ソリューション



日本郵船

日本郵船
社内DAO

MS&AD 三井住友海上

採用を透明化
三井住友海上
DAO型採用

大手企業との
実績あり
* 情報公開前の
ため、明記不可

web3/DAOで、従来のビジネスのマーケティングも変化

web2

ブログ、SNS

ロコミ



web3

ユーザーとの共創

行動(参加)

DAO

Decentralized Autonomous Organization

分散型自律組織

=

多くの人が参画し共創できる仕組み

貢献

報酬

投票



より一層SNSはじめ、ファン・コミュニティのマネジメントが重要に
つまり、ソーシャルメディア活用支援事業の拡大

ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーの知見をweb3/DAOに

ソーシャルメディア活用支援事業

10年

サービス開始

1,000社

累計支援実績

600社

運用実績

シェアリングエコノミー事業

DAO活用事業およびDAO化支援事業

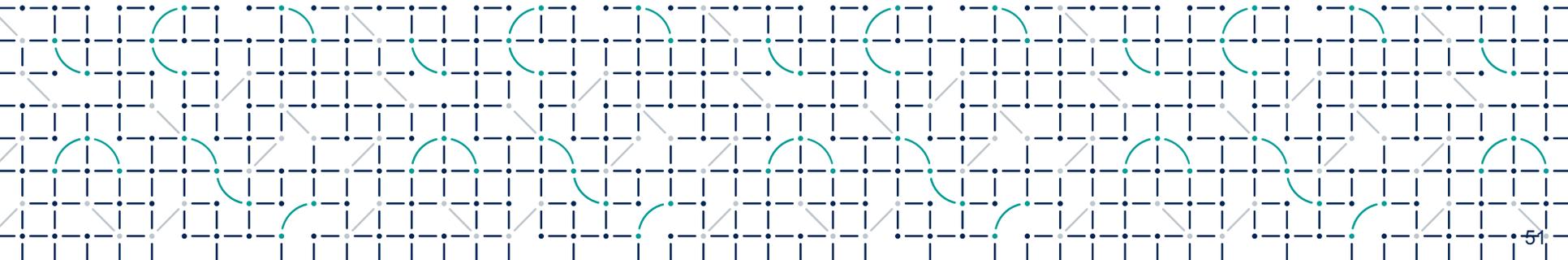
人と人がつながる社会を実現

注意事項

- 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



APPENDIX



会社概要

2023年12月末時点

会社名	株式会社ガイアックス Gaiax Co.Ltd.	従業員数	135名 (連結・正社員)
企業理念	ガイアックスは、「人と人をつなげる」を企業理念とし、人と人とのコミュニケーションの促進や、コミュニケーションを行うサービスや事業の創造に力を注ぎ、世の中全体を思いやる社会の実現に取り組んでいます。	事業内容	・ソーシャルメディアサービス事業 ・シェアリングエコノミー事業 ・インキュベーション事業 ・web3/DAO事業
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	上場市場	名古屋証券取引所 ネクスト市場 証券コード 3775
設立	1999年3月5日	発行株式数	5,337,452株
資本金	100百万円	株主数	2,263名 (2023年12月末時点)
本社	〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-3 MIDORI.so NAGATACHO	決算	12月

インキュベーション事業 投資先パイプライン

アーリーステージ

IPO等

バリューアップ

CO-NECT

Web受発注システム

TRUSTDOCK

API型本人確認サービス

SHARE CYCLE
COLOGIC

シェアサイクル

SPACEE

会議室シェア

Techpit

プログラミング教材

someite

アップサイクル

Photosynth

2021年11月 東証マザーズ上場

Runtrip

ランニングシェア

NOKI
SAKI
BUSINESS

スペースシェア

anyCarry

シェア型のデリバリー

OTERA
STAY

寺社民泊体験

MIRAI INSTITUTE

シェアオフィス

つなげと

体験シェアアプリ

SAIRU

マーケティング支援

DogHuggy

ペット版民泊

ストアカ

まなびのマーケット

KAMADO
OUR ART IN OUR TIME

アートxweb3コミュニティ

巻組

空き家活用シェアハウス

ADDRESS

多拠点居住サービス

APPBANK

2015年10月 東証マザーズ上場

unito

サブスク住居

Timee

ワークシェアアプリ

百戦
錬磨

地域民泊

EDGE

社内SNS・働き方支援

Home
Trimmer

自宅出張トリミング

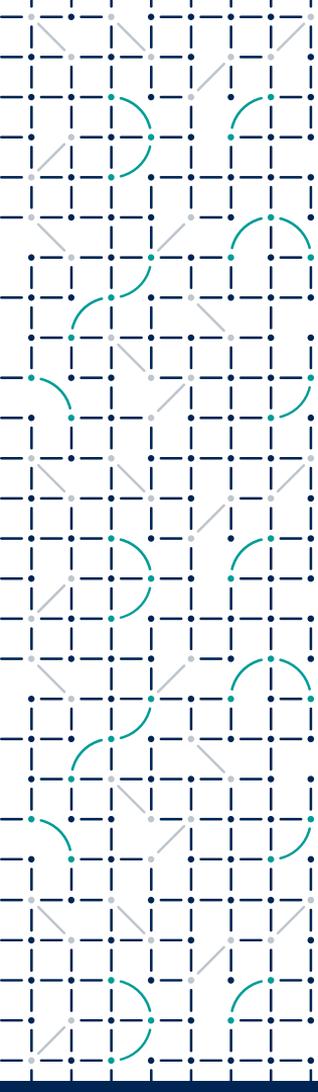
Anyflow

iPaaS
(Integration Platform as a Service)

PIXTA

2015年9月 東証マザーズ上場

※掲載の投資先は一部です。



シェアリングエコノミー・web3/DAO市場への取り組み

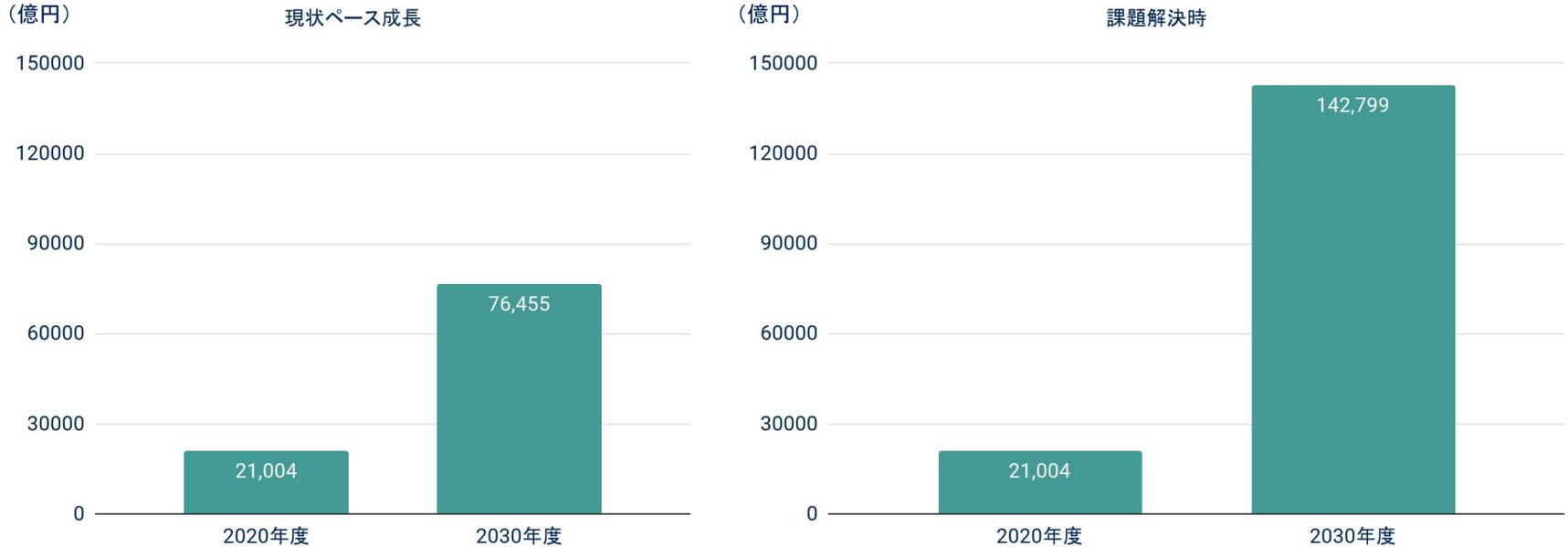
SNSを起点に拡大するシェアリングエコノミー、DAO領域



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

拡大するシェアリングエコノミー領域

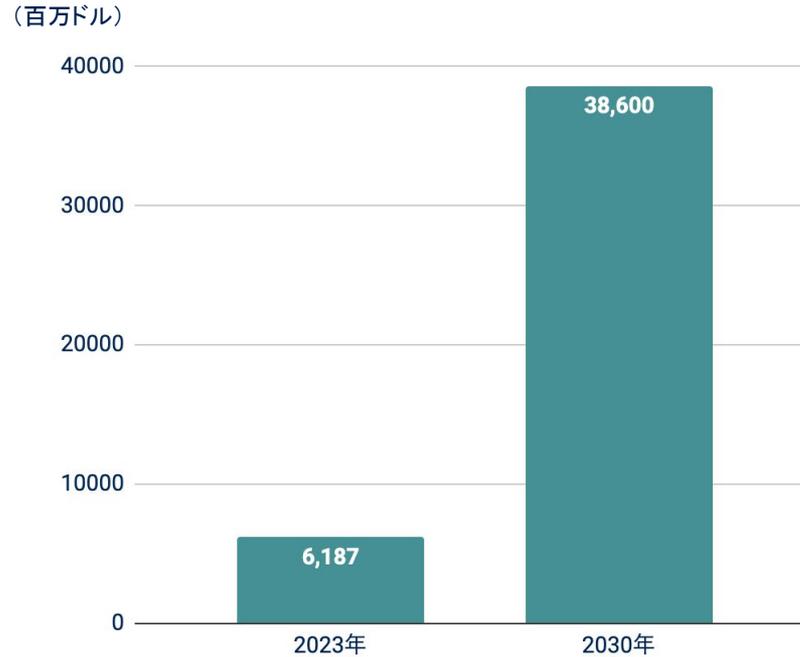
法制度の整備が進む等、市場成長の課題が取り除かれれば
国内シェアリングエコノミー市場は 2030年度に14兆円を超える規模に達する見込み



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

爆発的な拡大が見込まれるweb3市場

web3の世界市場は2023年に61億8730万ドル(約7,000億円)の見込み
年平均成長率44.6%のもと、2030年には386億ドル(約42兆円)に達する予測



※ Web 3.0 Blockchain Market Research Report Information By Blockchain Type (Public, Private, Consortium and Hybrid), By Application (Cryptocurrency, Conversational AI, Data & Transaction Storage, Payments and Smart Contracts) By Vertical (BFSI, E-commerce & Retail, Media & Entertainment, Healthcare & Pharmaceuticals and IT & Telecom), and By Region (North America, Europe, Asia-Pacific, and Rest Of The World) - Forecast Till 2030